

郷土府中を愛し、誇りに思う子どもの育成

現代社会では、多様な価値観をもつ人々と協力・協働しながら課題を解決する力が求められています。今後は、ますます世界各国の人々と交流する機会が増加していくことから、異なる国や地域の伝統・文化等を尊重するとともに、我が国の良さを知り、その良さを積極的に発信できる力を育成していくことが必要です。府中市教育委員会は、学校と地域（市民）が「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を共有し、協働し、郷土府中への誇りと愛着を持った持続可能な社会の創り手となる人材を育てていくために、様々な教育活動を実施しています。

1 「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組

オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップの開催を機会に取り組んできたボランティア体験やおもてなし事業等の活動を通して、子供たちに豊かな国際感覚やボランティアマインドを育ててきました。こうした活動を継続するとともに、ESD教育や府中の自然、伝統・文化を学ぶ「ふるさと学習」の取組を関連付け、「未来へつなぐ府中2020レガシー」として、6つのテーマに基づいた教育活動を実施しています。

将来の府中市を担う子供たちが、自分たちが暮らす府中市の良さや課題を考え、様々な取組・活動に取り組んでいます。

| 6つテーマ | | 「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組例 |
|--------|------------|--|
| ふるさと学習 | まちづくり | 「市政世論調査の結果」や「住まい環境調査の結果」など各種調査結果を通して、府中市のよさと課題を考え、住みよい町にするための方策を考えて提案する。 |
| | 歴史・文化 | 府中の歴史を調べ、府中に関係した先人や今に残る史跡・文化財に関心をもち、歴史・文化・伝統を引き継ごうとする態度を育てる。 |
| | 自然・環境 | 府中の環境の現状と課題を知り、自分たちができることを考える。 |
| オリパラ教育 | ボランティアマインド | 地域やPTA等と連携した地域清掃や、学校、通学路、近隣の公園などの清掃活動や落ち葉掃きなどを実施する。 |
| | 障害者理解 | バラスポーツや学校行事等を通じて、特別支援学級や特別支援学校の児童・生徒と定期的に交流活動を実施する。 |
| | 豊かな国際感覚 | 東京外国語大学の留学生をゲストティーチャーに、世界の国々の歴史や伝統文化等について知る学習を実施する。 |



(自然・環境)
多摩川の水質保全のために
清掃活動に取り組む



(まちづくり)
町探検して、発見したことをまとめる



(歴史・文化)
菊づくりを行い、大國魂神社で
開催している「菊花展」に出席



(自然・環境)
栽培したジャガイモを
市内子ども食堂に提供

2 「武蔵府中郷土かるた」を活用した学習活動

「武蔵府中郷土かるた」は、昭和48年に府中市が制作した「いろはかるた」です。毎年、市内小学校に通う第3学年の全児童に配布し、かるた遊びや調べ学習のテーマ、社会科の教材にするなど、幅広く活用されています。このかるたを通して、府中の歴史・文化・自然への理解を深め、地域に興味・関心をもつことができるように工夫しています。



3 馬場大門のケヤキ並木の保存・発展に向けた取組

ケヤキ並木が国の天然記念物に指定されて100周年を迎えることを契機として、ケヤキ並木について学ぶとともに、ケヤキ並木を保護更新する教育活動を実施し、地域の自然環境を大切にしようとする意識の醸成を図っています。

「知る・学ぶ」学習

動画や資料で知る・学ぶ

ケヤキ並木の成り立ちや歴史、保全活動等について、動画資料や「郷土府中に根ざした道徳資料集」の資料、社会科副読本「わたしたちの府中」「郷土府中」等を活用して、学びます。



↑ 動画資料「ケヤキ保存プロジェクト」
(府中市教育委員会作成)

「調べる・考える」学習

ケヤキ並木保存に関する 児童・生徒アンケート

市立小・中学校の児童・生徒に対して、馬場大門のケヤキ並木を守るための取組やケヤキ並木を生かした取組に関するアンケートを実施し、取組のアイデアを募集しました。

児童・生徒が考える取組

- 植樹活動・清掃プロジェクト
- 絵画コンクール ○作文コンクール
- クイズ大会 ○イメージキャラクター
- クッキーや年輪バームクーヘン販売
- スタンプラリー ○パンフレット作成
- キャッチコピー、シンボルマーク 等

「実践・行動する」学習

生徒会リーダー研修会

年2回開催される「生徒会リーダー研修会」では、ケヤキ並木の保全を含め、将来の持続可能な府中市を築き上げていくために何ができるのか、生徒会と市役所等の関係機関が連携し、協働できる取組について検討・協議しました。



ケヤキ並木プロジェクト

東京都立農業高等学校と、府中第一小学校・府中第一中学校の小中高連携により、ケヤキ並木の植栽帯にて、種まき等を行っています。

4 授業の教材として活用

◆ 郷土資料「郷土府中に根ざした道徳資料集」

府中市教育委員会は、令和6年度の市制施行70周年に向け、府中の自然や文化、人的資源を活用し、家庭や地域等と連携を図りながら、全ての児童・生徒が「ふるさと府中」に誇りをもてる教育活動を展開するために、昭和62年発行の郷土資料「郷土府中に根ざした道徳資料集」の全面改訂を行いました。

以前から掲載していた教材を活用する場合には、社会環境や自然環境、地域社会等の変化に対応した内容になっているか確認し、差替え及び修正を行いました。新規教材の作成については、「武蔵府中熊野神社古墳」「府中囃子」「けやきプロジェクト」など、府中市の史跡や文化財、自然保護活動等を新たに題材として取り上げて作成しました。また、「町探検」や「武蔵府中郷土かるた」など、子供たちにとってなじみ深いものを題材とすることで、自分事として捉えながら、「郷土愛」「伝統と文化の尊重」「自然愛護」といった道徳的価値への理解を深められるよう工夫をして、作成しました。



| 読み物資料数 | 主な題材 |
|--------------------|---|
| 小学校 低学年 読み物資料5点 | 動物ふれあい教室、校庭の芝生保全活動、地域見守りボランティアとの触れ合い、ほたるの養殖、府中の森公園 |
| 小学校 中学年 読み物資料6点 | 下河原鉄道の跡地、町探検、くらやみ祭り、浅間山、ムサンノキスゲ、けやき並木の保全活動、多摩川清掃 |
| 小学校 高学年 読み物資料6点 | 武蔵府中郷土かるた、武蔵府中熊野神社古墳、大賀一郎博士、村野四郎、武蔵野新田と川崎右衛門 |
| 中学校 読み物資料9点 | 府中囃子、画家 反町博彦、職場体験事業、2019年ラグビーワールドカップ、地域総合防災訓練、けやきプロジェクト、府中史跡の発掘調査、どんど焼き |

令和6年度は、全ての学校において、道徳授業地区公開講座や土曜授業等の機会を通じて、本資料を活用し、保護者や地域の方々とともに「ふるさと府中」について学び、府中市へ愛着と誇りをもつ活動を推進します。

◆ 社会科副読本「わたしたちの府中」「郷土府中」

府中市の産業や交通網、歴史や伝統文化、自然環境等を知り、その中から府中市の特色や課題等を見つけ、考察し表現する力を育成することや、地域社会の形成に参画しようとする態度を育てるための副教材として作成しています。各学校では、主に社会科や総合的な学習の時間の中で活用しています。

小学校「わたしたちの府中」、中学校「郷土府中」で学ぶ

府中市の土地利用の変化↓

府中市で生産 ↑ されている農産物

歴史的分野↑ 「武蔵国街と国庁」

見学・体験を通して、学びを深める



←「秋の多摩川探検」市内を流れる多摩川の様子を見たり、河原の自然環境を観察したりしています。



「市内めぐり」 → 大國魂神社や消防署、郷土の森博物館、市役所など、学習内容に応じて計画を立て、見学をしています。

社会科副読本で学習したことを、直接見たり、聞いたり、体験したりして、郷土府中への理解と愛着を深める教育活動を実施しています。「まちたんけん」「地域安全マップ作り」「市内めぐり」「多摩川探検」などは、子供たちが楽しく意欲的に取組む活動の一つとなっています。

府中市の地形や土地利用、産業（販売業、農業）、地域安全及び防災の取組、市の変遷、受け継がれる伝統・文化等について、イラストや写真を活用し、児童・生徒に興味関心をもたせ、広い視野から郷土の発展について考えることができるよう工夫しています。